

平成 25 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ク ノ ス ジ ャ パ ン
住 所 東 京 都 新 宿 区 西 新 宿 3 丁 目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー32 階
代 表 者 名 代 表 取 締 役 城 谷 直 彦
(J A S D A Q コード番号 : 3666)
問 合 せ 先 取 締 役 白 井 孝 秀
(TEL. 03-3374-1212)

グループ 2013－2015 年度中期経営計画策定に関するお知らせ

このたび、株式会社テクノスジャパン（以下、当社）は 2013-2015 年度中期経営計画を策定したことをお知らせします。

当社は、2014年度の創業20 周年という大きな節目に向け、2012年度に J A S D A Q市場上場、そして創業以来最高の売上高を達成しました。

今後、グループが目指す企業像として定めた中長期経営ビジョン『10年後トップクラスのICT Consulting Companyへ飛躍』を達成するにあたり、2013年度から2015年度をその礎を築くための第1次期間とし、2013-2015年度中期経営計画を策定しました。

グローバルに激変する I T市場において、当社が競争社会を勝ち抜き、成長し続ける企業としていくため、3つの成長戦略とそれを支える4つの基本戦略を遂行し、中長期的な事業規模拡大と収益基盤の強化に努め、満足を超えた感動を与える企業を目指してまいります。



2、経営目標（連結ベース）

中期経営目標（2015 年度）

- 連結売上高 : 70.0 億
- 連結営業利益 : 7.5 億
 - ✓ 年平均売上高成長率 : 15%以上
 - ✓ 年平均営業利益成長率 : 15%以上
- 売上高経常利益率 : 10.9%
 - ✓ 年平均売上高経常利益率 : 10%維持

（連結、単位：百万円）

	2012 年度	2013 年度		2014 年度		2015 年度	
			対前年		対前年		対前年
売上高	4,197	4,459	106.2%	5,800	130.1%	7,000	120.7%
営業利益 (利益率)	449 (10.6%)	415 (9.3%)	92.5%	600 (10.3%)	144.6%	750 (10.7%)	125.0%
経常利益 (利益率)	441 (10.5%)	426 (9.6%)	96.5%	611 (10.5%)	143.4%	761 (10.9%)	124.5%
純利益 (利益率)	272 (6.4%)	268 (6.0%)	98.4%	380 (6.6%)	141.8%	468 (6.7%)	123.1%

※上記経営目標水準は、経済環境の前提が設定時の水準から大きく乖離することなく推移すると仮定。

3、成長戦略と基本戦略

成長に向けた事業展開の加速にむけて、新規・成長分野への積極的な資源投下と、既存事業分野での収益力と効率性の抜本的改善に向けた取組を進めることで、国内市場での堅調な売上高伸展、円安・金融緩和による企業の海外投資が伸長するグローバル事業も着実に成長を遂げることを目指します。そのため以下3つの成長戦略とそれを支える4つの基本戦略を推進していきます。

（1）成長戦略

①インフラ戦略：世界に通用するプラットフォーム構築

- ・先進 I C T 技術（クラウド・モバイル・ビッグデータ）の各要素を活かしたお客さまニーズに適したプラットフォーム構築

②ビジネス戦略：E R P 診断から企業診断サービスの構築

- ・経営工学と業務コンサルを融合させたERP診断サービスから上流コンサルも含めた企業向け経営診断サービス構築

③グローバル戦略：産業界の海外進出を支援するグローバル戦略

- ・グローバル人材育成とグローバルプロジェクト推進体制強化
- ・生産性向上にむけたニアショア拡大とオフショアにむけて新興国である東南アジア地域への開発保守の推進
- ・ICT先進技術調査研究を目的とした米国調査機関設立

(2) 基本戦略

①既存顧客の深耕とマーケットの創出・拡大（テクノスブランド育成）

厳しい競争市場のなかにおいて、テクノスブランドを確立・浸透させ、マーケット戦略を元にした顧客企業との強固なリレーションを確立する。

- ・重点ビジネスの深耕と顧客との更なる関係強化
- ・顧客基盤を活用した受注確保にむけた営業戦略
- ・技術部門のソリューションセールス強化策

②新しい領域への積極展開（新市場・新分野への弛まぬ挑戦）

成長市場として東南アジア等への布石を確実なものとする。先進技術を活用した成長分野へのビジネス展開を実現する。

- ・成長市場＝東南アジアへの展開（オフショア展開）
- ・成長市場への展開（ボーダレスビジネス・社会要請・国際規制）
- ・新技術を使った独自サービス展開

③進化を支える組織強化（組織・人材価値向上策の推進）

未来の企業像を見据えた人材価値向上策を通じて、プロジェクトの品質・生産性を高め、組織強化を確実なものとする。

- ・全社総合力発揮にむけた人材育成3ヵ年計画
- ・コンサルタント、上流工程人材の育成強化
- ・プロジェクトの品質・生産性を高める向上策

④成長戦略を支える基盤強化（財務基盤・IT基盤の強化）

上場企業としての磐石な財務基盤を維持し、IT先進企業としての最先端インフラを活用した社内整備を確立する。

- ・適正利益追求型の経済価値向上（営業利益率の維持・向上）
- ・株式市場における信頼維持のための配当政策
- ・成長戦略を支えるM&A等の可能性も見据えた財務基盤強化
- ・先進技術で業界をリードするITインフラ活用

以上